

第 47 回日本臨床細胞学会スライドセミナーについて
昭和大学病院・病院病理科
九島巳樹

時間の制約があり、座長の挨拶の言葉を用意したのですが、十分にお話しできなかったのもので、セミナーの前に用意していた原稿を以下に記述します。

「昭和大学病院の九島です。慈恵会医科大学第三病院の塩森さんと座長を勤めさせていただきます。座長にご指名いただいた前田会長、片山事務局長を始め、日本医科大学多摩永山病院のスタッフ、学会関係者の皆様に感謝いたします。とくにホームページのスライド写真と集計にご尽力いただきました弘前大学の鷺谷(わしや)さんに感謝いたします。

今回のスライドセミナーは、あまり特殊な症例でなく、日常の細胞診断に役立つ教育的な症例で、専門医、検査士それぞれに役立つコメントをお願いしてあります。また、回答者の皆さんは診断を当てるのではなく、細胞の見方、考え方を述べていただきたいと思います。そして、フロアの皆さんには各症例から細胞診断業務に役立つコツを各症例から一つずつでも学んでいただければ幸いです。

各症例は最初に簡単な症例提示を出題者の方をお願いし、その後、回答者は検査士の方、専門医の方の順にご自身の意見を 3 分以内で述べていただきます。次にアンケートの結果をお示しします。それも含めて、出題者の先生は 10 分以内で解説をお願い致します。時間の関係でフロアからの質問は各症例について、お一人ずつにさせていただきます。」

実際の進行は時間の関係で、かなり省略しなければならなかったのですが、ここでは、今後、スライドセミナーをご担当される方々のために、症例検討の進行の一例を記載します。すなわち、

「早速、case ○、○○○領域の症例からおねがいします。出題者および回答者の皆さん登壇してください。

- (1)まず、出題者が PC で、ホームページに公開した一連の写真を提示(1 分程度)、
- (2)回答者(検査士 3 分、専門医 3 分)、
- (3)アンケート結果提示(30 秒)、
- (4)解説(出題者 10 分以内)、
- (5)質問(1 分 30 秒)。
- (6)座長コメント他(1 分)」

これを 6 症例繰り返しました。

症例の詳細は解説をご覧ください。

投票の結果をみますと、当初予定したよりも難しい症例が多かったようですが、出

題者の先生方が細胞診業務の中で経験された貴重な症例を提示されたことに感謝いたします。各症例の詳細な解説は、細胞診を始めたばかりの方はもちろん、今までの自分の知識を整理される上で、ベテランの方々にもお役に立てたのではないかと思います。今回、出題者の先生方をお願いして、解説に使用されたパワーポイントを公開させていただくことができましたので、会員の皆様の勉強にお役立て下さい。

ただし、各会員の方がお読みになる以外に、他の目的で、出題者の先生方に無断でこれらの内容を使用することはご遠慮下さい。

また、回答者の方々には、少ない情報の中で、きわめて適切な回答を簡潔にまとめていただき、セミナーが円滑に進行出来たことは、皆様のおかげと感謝しています。

最後に、鏡検室のお世話をはじめ会場の運営にかかわったすべての関係者に感謝します。

以上、本学会が今後、ますます発展することを祈念いたしまして、座長の御礼の言葉にかえさせていただきます。

ありがとうございました。